

2013年10月2日

ご紹介にあずかりましたホームページ RoomNo.29L の管理人けんぼんこと土屋と申します。

本日はRZR生誕30周年記念という事で、全国よりこんなにも多数のオーナーにご参加いただき、同じRZRオーナーとして胸が熱くなる思いとともに、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

また、本日はお忙しい中ヤマハさんからも3名のご出席をいただいております。誠にありがとうございます。詳細につきまして、あとでご紹介申し上げます。

一応、HPを運営している代表と言うことで、こんな壇上に立たせていただいておりますが、RZRにマニアックに精通している訳でもないし、RZRでレース活動している訳でもなく、どこにでもいるただ、ただ、RZRが大好きで乗ってイジっている一オーナーであります。

今日に限りましてはそんな一RZRオーナーが皆様の代表をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

私とRZRの出会いにはHPにも少々書いてはおりますが、1990年頃に中古で最終型の3HMを購入したところから始まっております。

この時は「速くて安い」なんてよくある理由で購入しました。しかし、この3HMですが乗れば乗るほど、そしてイジればイジるほどに楽しくそして奥が深いバイクでした。

まさに2ストロークスタンダード。レーサーレプリカのように気負いしないで、どんなシーンでも乗れるスタイル、YPVSで乗りやすさを維持しつつパワーバンドから豹変するエンジンフィーリング、そして優れた整備性と耐久性そして豊富なカスタムパーツ。

その後、おむすびテールのスタイルへの憧れで51Lに乗り換えましたが、その思いは変わることはありませんでした。他のバイクにも色々乗る機会もありましたが、自分のライフスタイルの中でRZR以上のバイクに出会うことはなかったです。

世の中ではRZ(4L3)が歴史的名車として広く認知されており、私もそれを否定する気はございません。80年代の2スト復活の引き金となったRZがなければRZRも生まれなかった

のですから、、、

ただし、90年代からの第二次RZRブームでのRZRの誌面の扱いはRZRが歴史的名車として大絶賛の中でRZRでは「RZRの良い所がスポイルされてしまった」、「一部のマニアックなファンには、、、」、と言ったイマイチな論評が多かったと思います。

この当時からRZRオーナーの私としては、こう言ったRZRへの評価に疑問をたくようになりました。当時のRZR系ミーティングや夜の第3京浜保土ヶ谷パーキングなどで出会ったRZRオーナーと話すとき多くの方が私と同じく「RZRではなく、あえてRZRが好き！」な方がとても多くいたからです。

こういった思いがあり、「RZRが好き！」な人が集まれるホームページ RoomNo.29L を2002年に作り、11年ほど運営しています。

RZRは2ストのカラーラです。販売された年月も5年以上と当時としては長いことから多くの車両が世に出ました。ただ、多く売れば名車と言えれば私は否定的です。販売終了後もどれだけ愛されているかが真の名車となりうると思っています。

そして、今日の販売開始後30年経ったRZRのこの状況を見れば、間違いなくRZRも名車の1台と言えるのではないのでしょうか！

ただし、こうして多くのオーナーに愛されている一つの要因として、ヤマハさんより重要部品の純正パーツが長きに渡り供給していただいていることも、とても大きなファクターになっていると思います。

最近はずがに販売終了のパーツも増えてきました、、、一昨年よりRZRオーナーズ連盟としてヤマハ発動機販売(株)さんへパーツ供給について陳情へ伺ったこともありました。製造終了後25年以上経ったバイクの純正パーツを供給していくことは本当に難しいかと思っています。

今は性能追及しつつどれだけエコかの時代ではありますが、古きよきものも直して大切に長く使っていくのもエコであり、またモーターサイクルの一つの文化だと思っています。

2013年10月2日

ヤマハさんにはこれからも出来る限り純正パーツの供給をお願いします。また、自分の人生の中で共に歩めるバイクを世に出していただきましたことを感謝致します。

そして、今日全国から来た多くのRZRオーナー同士が顔見知りになりました。古いバイクを維持していくにはオーナー同士のネットワークもとても大切です。

今日、このミーティングでのオーナー同士の出会いが今後の車両維持にも役立つ時が必ず来ると思っておりますし、いずれどこかで偶然でもあった時に「30周年で会いましたよね？」なんて出会いが起きることを楽しみにしております。

最後に今日のこの日を迎えるにあって多数のRZRオーナー様にご協力いただいた開催の運びとなっております。また、ヤマハ発動機㈱様、ヤマハ発動機販売㈱様、ヤマハコミュニケーションプラザ様にも多大なるご支援をいただきました。皆様へ感謝の言葉を述べさせていただきます。ありがとうございました。

そして、今日は短い時間ですがRZR生誕30周年を楽しんいきましょう。

以上です。